



子持山全景

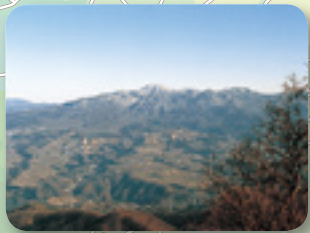
古代の活動の様子分かる古火山

子持山

▲ こもちやま

▲ 標高 / 1,296.4 m

子持山は、太古に活発に活動した古火山で、火山地形の名残がよく観察できる天然の奇勝です。鉄製のはしごと鎖で登る大黒岩(獅子岩)からは、県境の山々から関東平野までがぐると見渡せます。時間に余裕があるならば、子持神社周辺の万葉歌碑を訪ねてみるのはいかがでしょうか。



子持山からの風景



大黒岩(獅子岩)



屏風岩

登山道 0:20所要時間
食堂
トイレ
電話

ビューポイント
水
駐車場
道標
看板

知識

■岩脈と岩頸

大黒岩は、高さ100mの円筒形をした岩の塔。これは、火口内で固まったマグマが、周囲が浸食されて露出したもので、岩頸と呼ばれます。獅子岩を中心として、ほぼ放射状に走る岩の連なりは岩脈と呼ばれ、古くマグマの通り道であった場所です。一枚岩である屏風岩は、この岩脈にあたります。どちらも地質学上の貴重な資料です。